

# 第1回 植水小学校・植水中学校 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年6月12日(水) 14:30～16:00

2 場 所 植水小学校視聴覚室

3 参加者 略

4 内 容 (1) 委嘱状交付  
(2) 中学校長あいさつ  
(3) 自己紹介  
(4) 会長・副会長選出  
(5) 議事 ①本年度の学校運営協議会について  
②本年度の学校運営に関する基本方針及び具体的な取組について  
③昨年度の熟議を受けての今年度の取組について  
④意見交換  
(6) 中学校長あいさつ

5 議 事

①本年度の学校運営協議会について

- ・開催日程について年3回実施。実施日は昨年度に決定、第2回以降の開始時間は後日開催通知で連絡。
- ・「目指す子ども像」については、昨年度のものを継続。  
「であい、ふれあい、ふるさとから、夢豊かに学ぶ 植水っ子の育成」
- ・学校運営協議会の役割について確認

②本年度の学校運営に関する基本方針及び具体的な取組について

小学校より

- ・学習にふさわしい環境の整備について
- ・学力の基礎的、基本的事項の確実な定着について
- ・不登校件数の削減やいじめの未然防止及び早期発見、早期解決の徹底について
- ・基本的生活習慣（挨拶、清掃、給食等）を徹底し、「当たり前のことを当たり前に行える」子どもの育成について
- ・地域、家庭、学校が子どもたちの成長をあたたく見守る体制作りについて
- ・全職員が生き生きと自己の教師としての資質を高める取組について
- ・令和6年度のこれまでの児童の学校生活について
- ・植水小学校における令和5年度さいたま市学習状況調査の結果について
- ・植水小学校における新体力テストの結果について
- ・いじめ防止基本方針について
- ・いじめ認知件数 長欠傾向 心の生活のアンケートの児童の事態について

- ・植水小学校の学校課題研究テーマと今年度の方針について

#### 中学校より

- ・植水中学校の生徒の様子について  
(認知能力も大切であるが非認知能力を重点的に意識して高めていきたい)
- ・朝学習における数学の学習活動の継続的取組について
- ・生徒に合わせた個別最適な学習の充実について
- ・きめ細やかな指導と生徒指導、教育相談体制の充実について
- ・自分事として捉えられることができる防災教育について
- ・高校と連携した取組の継続について
- ・教員としての自覚を持った行動と働きやすい職場環境の改善及び授業力の向上について
- ・いじめ防止基本方針について
- ・生徒同士が集団の中で関わり合えるような取組について
- ・令和6年度のこれまでの生徒の学校生活について

#### ④昨年度の熟議を受けての今年度の取組について ( ○委員より ●学校より )

##### 【テーマ1】 防災教育について

- 昨年度地域・関係機関・学校が連携した実践的な防災教育を推進することができた。
- 小学校のチャレンジスクールを発展させ、防災教育の取組を発表形式で実施したい。個の取組で小・中の防災についての取組が進むのでは。
- 自治会と中学校と役所が連携した避難所開設訓練をしている。訓練内容を精査し様々な状況を想定した訓練を計画している。
- 情報提供になるが、都内の学校では、上履きに履き替えるのではなく外履きのままで過ごす学校の事例がある。避難をする際、そういった防災の観点での取組がある。
- 小学校で行われている防災フェスティバルを学校運営協議会と連携した取り組みができたらと考えている。
- 子どもたちが参加することはとてもいい経験になる。参加することで自分は何ができるかというよい機会になるのではないかな。
- 植水小のチャレンジスクールの一環として行っていたが、学校運営協議会が主催とすることによって地域ぐるみでの取組になるのではないかな。各学校とも連携して取り組んでいったらどうか。
- 小学生と中学生と一緒に取り組むときにどういうことが必要なのか考えていく必要がある。地域の中で、小中学生にも役割を与えることで子どもたちの自信につながってくるのではないかな。
- 小学校と中学校が連携して、取り組んでいけるよう詰めていく必要がある。

##### 【テーマ2】 植水地域の魅力再発見と地域貢献について

- 植水地域の魅力をさらに学校、子どもたちが再発見し、最終的には地域に貢献できるようにしていきたい。
- 昨年度、地域に根差した紙芝居を普及させたいと考えている。児童が取り組んだ地域のことを知りたいという思いも生かしていきたい。
- 大宮光陵高等学校の生徒と連携して作成した紙芝居を生かした取り組みをしてみてもどうか。地域に根差した行者小平次と八百比丘尼の紙芝居を小中学校と連携して取り組んで

いけたらと考えている。

- 八百比丘尼の作成物については、公民館や小中学校にも置いて活用していただきたい。地域にこういう話が伝わっているということを子どもたちにも知ってもらいたい。
- 作成した紙芝居を多くの人に見てもらいたい。保護者にも見てもらいたい。作成したデータを公民館などでも閲覧できるような取組をしてみたいかがか。

### 【テーマ3】 新たな課題について

- 地域に何の課題があるか。大きく考えると、小中で何が必要かを考える必要がある。学力・体力・生徒指導等。学校は学力をつけるところである。人間性を培うところである。中心的な課題をおさえて話し合わないといけない。子供たちの学力をどうつけていくかを考えていく必要がある。それぞれ、教育方針・努力点、 地域と学校が結んで学びの未来をどうつなげていくか。これが大きな課題である。協働・連携・熟議というものを子どもを中心に考えていく必要がある。地域としてどう育てていくのかを学校教育を中心として考えていく。防災や紙芝居などの作成物も地域として大事である。それと同時に学校が中心的課題は何かを忘れないでほしい。それが学校運営協議会の課題である。
- 「地域と学校が結んで学びの未来をどうつなげていくか」を今後詰めていきたい。

次回 令和6年10月17日（木）場所 植水小学校